

Course number		U-LAS52 10006 PJ22					
Course title (and course title in English)	博物館実習（自然史） Practical Training at Museum (Natural History)				Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Science Professor,YOSHIMURA KAZUYOSHI Graduate School of Science Associate Professor,NAKANO TAKAFUMI Graduate School of Science Assistant Professor,MATSUOKA HIROSHIGE Graduate School of Global Environmental Studies Professor,TANAKA CHIHIRO The Kyoto University Museum Professor,MOTOKAWA MASA HARU Wildlife Research Center Professor,KOUSHIMA SHIROU Wildlife Research Center Project Professor,TANAKA MASAYUKI Graduate School of Science Professor,SOTA TEIJI Graduate School of Science Professor,NAKATSUKASA MASATO Graduate School of Science Associate Professor,FUSE SHIZUKA Graduate School of Science Professor,WATANABE KATSUTOSHI Field Science Education and Research Center Assistant Professor,SAKIMOTO MICHINORI	
Group	Career Development			Field(Classification)	Museum Studies National Certification Course		
Language of instruction	Japanese			Old group		Number of credits	2
Hours	60	Class style	Practical training (Face-to-face course)		Year/semesters	2024・Intensive, First semester	
Days and periods	Intensive 3rd-5th period on Fridays	Target year	3rd year undergraduates or above		Eligible students	For science students	
[Overview and purpose of the course]							
博物館に収集・保管されている自然史標本資料の機能を理解するために、標本整理、情報収集、研究への利用法を学ぶとともに、博物館、動物園、植物園、水族館で、見学実習を行う。							
[Course objectives]							
博物館、動物園、植物園、水族館でどのような社会教育・研究活動が行われているかを理解し、収集・管理されている自然史標本資料の取り扱い、利用法の実際を体験学習する。							
[Course schedule and contents)]							
金曜日の3・4・5限の実習を前期に10回行う。博物館、水族館、植物園、動物園等を見学してその運営形態を学ぶ。さらに、様々な自然史標本の作成、整理、情報収集の方法を身につける。第2回～10回の実習の順番は変更されうるので、必ず第1回に出席すること。担当教員は毎回代わるが、実習の代表教員（吉村）が全体をコーディネートする。							
第1回 事前指導および総合博物館の見学実習：吉村（事前指導）、本川（総合博物館見学）							
----- Continue to 博物館実習（自然史）(2) -----							

博物館実習（自然史）(2)

日時・場所：4月12日（金）13:00に総合博物館 1 F ロビー集合（第2回以降の担当教員・予定・集合場所など詳しいことは第1回目の際に説明・配布する。）

第2回 京都市動物園において見学実習を行う。

第3回 京都大学上賀茂試験地において見学実習を行う。

第4回 京都水族館において見学実習を行う。

第5回 理学部附属植物園において見学実習を行う。

第6回 植物標本の作成、整理、研究の方法等を学ぶ。

第7回 魚類・昆虫標本の作成、整理、研究の方法等を学ぶ。

第8回 菌類標本の作成、整理、研究の方法等を学ぶ。

第9回 人類学標本の整理、研究の方法等を学ぶ。

第10回 化石標本の作成、整理、研究の方法等を学ぶ。事後指導を行う。

[Course requirements]

博物館学 ・ ・ の内、2科目の単位を修得済みで、3年生以上の学生を対象とする。
また、本授業の単位は増加単位にはなるが、卒業に必要な単位にはならない。

[Evaluation methods and policy]

実習への取り組みの態度によって評価する。実習であるため、参加しなければ、その回についての評点はない。毎回、担当教員より出される課題について採点を行い、コーディネータが総合的評価を行う。

[Textbooks]

特にないが、必要に応じて関連論文等に関する情報を提供する。

[References, etc.]

（References, etc.）

特にないが、関連論文等に関する情報を提供する。

[Study outside of class (preparation and review)]

実習内容が回ごとに大きく異なるため、復習すべき事項は、各実習時間中に指示する。不明な点については随時コーディネータに照会すること。

[Other information (office hours, etc.)]

「学芸員資格取得のための科目」である。
実習の性格上、学生数を10名程度に制限する。履修希望者が多い場合は、最初の授業においてレポートを課し、その内容に基づいて履修可否を判定する。
見学実習の際にかかる交通費、および入館料が実費である場合、それらは受講生負担となる。
万一の事故に備え、学研災（学生教育研究災害傷害保険）及び学研賠（学研災付帯賠償責任保険）または同様の保険（生協の共済等）に必ず加入すること。